

平成 26 年度 国分寺市図書館利用者懇談会（本多図書館）

日 時 平成 27 年 2 月 17 日(火)午後 6 時 30 分～8 時 00 分
場 所 本多公民館 講座室
参加者 市民 1 名（女性 1 名）

1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

図書館：配布資料「平成 25 年度国分寺市立図書館の状況」事務報告書からに基づき説明。平成 22 年度がピークでそのご震災等からの自粛ムードもあるがこのところ減っている。身近なところでスマートフォン等が浸透したことなど多様化や学校図書館の充実なども影響したのではないかと。トピックス的なものとして去年 10 月に図書館システムが改定されたがデータの落とし込みなど細かいところ不具合がありご迷惑おかけした。ホームページも改定し YA コーナーやデジタル博物館（ふるさと文化財課と協賛）も開設した。青空図書館ということで著作権の切れた名著をデジタル化した。電子書籍で図書館に行かなくても本が読めるなどを試みている。ただ、図書館で利用できるようなコンテンツがないのが実情である。

都立多摩図書館が去年から移転に伴い、工事が始まった。日本一のマガジンバンクとして 17000 タイトル、新聞も 171 紙ぐらい扱っている。児童書関係相当数ある。都立図書館は図書館の図書館ということで市民に貸し出すというものでないが折角国分寺に来てもらったので施設の利用についても検討している。

この 4 月から市立光図書館で一部業務委託が施行される。2 年間の試行でカウンターワーク、交換業務などのルーチンワークをまかす。一方、職員等 3 人（嘱託 1 名含む）は一般書、児童書、雑誌等は今までどおり行うが国分寺は中央館がないので光図書館は主に障害者サービスを重視していこうと考えています。今まで行っているがあまり広がりがいい。実際 500 人以上視覚障害者がいるがわずか 2 人程度の利用になっている。3000 タイトル分のカセットテープがある。これも劣化が激しいことから優先順位をきめながらこの 4 月からデージーに切り替えていく。あと朗読者の養成も行っていきたい。従前、養成講座を通じてグループもできたが、だんだん高齢化が進むなど新たな朗読者を養成するためです。入院されている方の宅配とか高齢者施設への団体貸出、特別学級との連携など障害者へのバリアフリー化を図る。こちらからも手を差し伸べる。また、国会図書館でデージーをフリーで

とれるサービスも行っている。こうしたことも活用して新たな仕組みも進めていきたいと考えている。委託に伴い、サービスも拡大する。平日は夜7時まで開館。祝日は5時（原則、月曜日は休館日であるが祝日は開催）まで開館。今回プロポーザル方式で業者が決定したが4～5人のスタッフがカウンター業務等を行うことになる。6割以上は司書の資格を有するもの。有していない方は接遇などの研修を行っていくことになる。

2. 意見・質問

図書館：子供の居場所というか 核となるものが図書館であり、 そうしたいと思う。

意見：どうして連携することが必要なのかというと、家にいると誘惑が多くて勉強できない。誘惑の少ないところはどこなのか。

図書館：自宅にいても結局、図書館なり出向いた結果、勉強もはかどる。

意見：この間、社協で講演会があったと思うがそれには直接、参加していないが公民館の子どもの実習が少ない。むかし本多図書館も5時までの時ですが青年室があった。図書館が閉館したら、そのあとそこで調べなおすことができた。最近は大人が少なくなった気がする。小学生も利用しているようだが資料が少ない。わたしが図書館を通じて知り合った人で文書の校正をする人だがその際、言葉の意味を調べるのに図書館資料があったらいいと言っていた。

図書館：図書館の参考資料室もそうだが、われわれも万遍なくできないが図書館の市民対応の思いと利用者からの思いとの隔たりを補完しあう、つまりそう意味で連携が必要だと考える。ただ、参考資料室も少し考えていかなければならない。備品ひとつとってみても、もっとフラットで仕切りがあって、点検の時はパソコンも使えたら効率的だと思う。

意見：うちの従業員のお子さんも図書館に行って宿題をするために利用しているそう。ただ、子供が使うようになっている一方、大人の利用が減っているともいえる。やはり、勉強室は必要かと思う。先日、立川市中央図書館の見学にいったがマンガなど今風のつくりであってよかつた。

図書館：YAコーナーについては、開設当初力をいれて作った。

意見：図書館のイメージが変わる。本多図書館でいえば新刊案内があるが目で見えてわかりやすい。

図書館：本多図書館は児童書が奥にある。

意見：真横に出すことで目に付くのではないか。入口から広いのだから。

図書館：もとまち図書館は入口から児童書が立ち並んでいるので、揃っているように見える。蔵書数は本多に比べれば少ないが天井が高いこともあるが、開放感がある。

意見：レイアウトを少し変えるだけでも違うのでは。

図書館：4月11日、12日ペンシルロケット展があるがこれに科学系図書やオブジェを展示してもいいのではないかと考えている。

意見：流行に乗るというか、この前テレビで「永遠のゼロ」について取材していたがまず本を見る、次に映画やドラマを見るか。逆にドラマ等を見てから、本を読むことで知識が深まり定着する。いろいろな発想があると思う。この前、視察にいった。立川中央図書館でも、たとえばよく知っている題材でもイラストなど飾って視覚的にみることで何か違ったものが見えてくる。興味がわいてくる。とてもよかったですと思います。

図書館：こうしたアイデア、企画力というのは大事である。

意見：駐輪場の窓側スペースなどは外からも見えるので何かアピールできないかと思う。たとえば掲示板を建てていてるところとかいい。また、今度の開発ビルでももっとアピールできないか。

意見：もう少し情報提供してほしい。

図書館：一部委託，都立図書館の移転などがある。

(一部委託，都立図書館の説明)

本日はありがとうございました。

平成 26 年度 国分寺市図書館利用者懇談会 (恋ヶ窪図書館)

日 時	平成 27 年 2 月 18 日 (水)	午後 2 時～ 3 時 30 分
場 所	恋ヶ窪公民館 おはなし室	
参加者	市民 4 人 (男性 4 人)	

1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

・配布資料「平成 25 年度国分寺市立図書館の事業 (概要)」に基づき説明。

図書館運営協議会平成 25 年度から第五期の説明。昨年度 6 回，視察 1 回。

・各館の蔵書構成の説明 (本，光，恋，並，も) 交換便の説明

配布資料「高校生向けブックリスト」について説明。高校生主体に作成。

- ・小平市との相互利用を平成 25 年 11 月 1 日より開始。立川市とも相互利用の話を進めている。市の西側の利便性が上がるので協議中。

- ・都立多摩図書館が武蔵国分寺公園の一角に移転してくる。

光図書館の窓口業務が 4 月から委託になる説明

- ・国分寺には中央館がなく、各館で役割を分担している。新聞、文庫等も分担している。求める本が手に入らなくても、交換便を密に展開しているのでスピーディに提供できるようにしている。今年度は学校との交換便も始まった。近年、求められる資料を提供するために、近隣市以外からも、例えば大分県立や徳島県立などからも資料を貸借し、提供している。また、相互利用が、国立市、府中市に加えて小平市ともはじまった。国分寺は月曜が休館だが、高校生や大学生の勉強する場所がなく、他市を利用しているという声も聞こえている。

2. ご意見・ご質問

質問：都立図書館はどの辺りにできるのか

図書館：(場所の説明) 図書館の隣には都立小金井と特別支援の仮校舎が建っている。また、プレス発表によると東京都公文書館が来る予定。「東京市史稿」などを編纂しているところ

質問：都立図書館は貸し出しをするのか

図書館：都立図書館は直接借りることができない。雑誌のコレクションがおそらく日本で資料が豊富。創刊号コレクションもしている。専門新聞や、地方新聞なども一週間遅れで揃えている。日比谷図書館から受け継いだ児童書も持ってくる。当初地下を建設する予定だったが湧水の関係で変更し、地上三階建ての建物が建つ予定。映画フィルムも古いものを持っている。市と一緒にコラボできるといいと思っている。

図書館：来年度から光図書館の窓口が委託になる。2年間の試行ののち、H29に本多図書館以外を委託しようと考えている。PFI＝府中のように建物ごと管理を委託・指定管理＝丸ごと委託の方式ではなく、カウンター業務とその周辺のルーチンワークを委託しようと考えている。

図書館：北口再開発に伴い、駅前分館は新しく建つビルに移る予定。エルホールも移る。市民課の住民票なども取れるようになる。その他カフェなども入る予定。3/15 くらいからパブリックコメントがはじまる。

質問：運営協議会の記録がHPから抜けているのは、忘れているのか。

図書館：これから入れる予定。

図書館：システムが変わった。20年間日立を使っていた。サーバも今までは図書館で持っていたが、セキュリティや災害のリスクを考え教育系システム一括で外に出して管理してもらうことになった。今までと考え方などが違い、こちらも模索中。5年契約。

質問：最近新聞にシステムが変わった市が載っていたが。

図書館：おそらくは町田市。ICタグを活用したシステムになり、カウンター業務が多少軽減されたという記事。ゆくゆくは国分寺でも導入したい。

図書館：蔵書点検も、今まではバーコードをなぞっていたがICタグがつくことで一度にたくさんの情報を読むことができるので早く終わることができる。

質問：電子ブックとかにすれば紙の本はどうなるのか。

図書館：電子書籍の業界が円熟しておらず、図書館で導入というのはまだ。青空文庫をHP（ホームページ）にリンク張ってあるので著作権が切れたものは見られるようになった。20年前オンデマンドなんて考え方もあったが、まだまだ紙の本はまだ生き残っていくのでは。時代に適した媒体を提供できるようにしたいと思っている。

図書館：HPにデジタル博物館をふるさと文化財課とタイアップし市制50周年記念として作った。武蔵国分寺資料館で流している動画があり、それを見せていこうという企画。まだ内容は充実していないが、今後は企画展なども見られるようにしていこうと考えている。

意見：今の市の上層部の方が図書館についてどう考えているか。図書館というのは街づくりの場、人を育てる場所。防災防犯よりもっと上と思っている。人件費の問題などで委託するという風に見える。

図書館：最大限理解してもらえるよう努力していこうと思っている。長くいる専門職員が一年目の職員と同じルーチンワークをしているのはもったいない。例えば光図書館なら窓口委託をして障がい者サービスの拡充ができないかと思っている。ピンチはチャンスだと考えている。こちらから市長部局に言っていけたら。

意見：市的には助かるのかもしれないが、サービス低下が心配。図書館に行けば何かあるんじゃないかという期待感を裏切って欲しくない。

質問：図書館の司書資格を持っている人は何人か。

図書館：正職員は半分くらい。昭和60年位までは専門職採用をしていたが、そ

れ以降はしていない。嘱託職員は9割が司書資格を持っている。

質問：恋ヶ窪図書館の司書は。

図書館：正規職員は3人中2人が司書。嘱託職員も3人中2人が司書。計4人。

質問：業者委託する場合司書の条件は付けるのか。

図書館：6割は司書にするようにしている。メンバーは固定してくださいとも言っている。研修をしっかりとってください、などの条件は付けている。

意見：何か聞いても答えられないというのではサービス低下となりも困る。

意見：時々国立市の図書館を使う。職員の対応は国分寺の方がいい。明るい。

図書館：もとまち・恋ヶ窪・本多図書館と勤務してきたが、それぞれの3館で利用者の方の違いがある。風土の違いかと。

意見：利用者としてこちらが「ありがとう」なのに、「ありがとう」と言われると恐縮する。

図書館：「ご利用いただきありがとうございます」という意味。

質問：図書費は削られやすいみたいだが。

図書館：平成9年度と比べると半分になっている。

意見：運送業者も専門の所に頼めば安くなるのでは。

図書館：専門業者に委託している。

意見：市長が図書館に力入れているところは予算が上がっている。

意見：老年サービス、定年した人の講習会などをやってはいかがか。国分寺の特色を出すならそういうのはどうか。

図書館：おっしゃるとおり、そちらのほうへシフトしていかなければならないと思っている。来年度ボランティアを始めるが、「無償の労働力だと思われる」とボランティア団体の方に言われている。

意見：国分寺は知識人が多い。けれど、そういう人材を市として活用できていないのではないかと思う。

意見：本の修復のボランティアに頼んではどうか。

意見：去年本を汚してしまったが、うまく修理してくれた。

図書館：小平市立図書館は古文書に強く、修復にも強い。ボランティアを頼めたら良いと思っている。

質問：リクエストは増えているのか

図書館：横ばいくらい。震災以降、全体的に図書の貸し出しは下がっている。他のメディアのせいかもしれない。

意見：本屋さんで見て、リクエストをすると40番目とかになっているのでリクエストは増えているのかと思った。みなさん情報が早いので驚く。

意見：内藤地域センターの図書室が結構新しい本が入っている。

図書館：地域センターは協働コミュニティ課の予算で購入している。

図書館：(内藤地域センターは) 開設当初図書館で管理してはと言われたが、今のような自主運営のような形になった。内藤のボランティアの方たちが頑張っている。

質問：地域で図書館的なことをしている個人の方はいるか。

図書館：地域文庫の方が地域の図書室として開放している。

意見：地域文庫の連絡先や蔵書を図書館HPに載せたらどうか

図書館：蔵書は難しいが連絡先などは図書館だより等で紹介している。

意見：HPにも載せたらよいと思う。

意見：バラバラになっている情報を図書館のHPで統合して見せる工夫が欲しい。

図書館：HPにリンク先を増やしているので、そういうことができればやっていきたい。

意見：中央館がないならそうやって情報を集約する機能を持たすなりしてはどうか。

意見：この(YA向け)リストもHPに冊子をアップするなどしてはどうか。トップページにひとこと「作りましたよ」と載せてくれると良いと思う。

質問：昨日第4小学校にいったが、同じシステムを使っているのか

図書館：使っている。この10年で学校司書を取り巻く環境がかなり改善された。学校司書が配置され学校図書館がいきいきしている。これからも維持していければと思っている。

意見：疑問を持ったら自分で調べる、という癖を小学生のうちにつけばいい。

図書館：学校への(公共図書館からの)サービスは増えている。学校図書館の図書費も増えている。朝読などの活動が盛んになっている。朝の読み聞かせのために公共に本を選びに来るお母さんもいる。

質問：国分寺でタブレット使った教育はしないのか。

図書館：まだそこまでしていない。

意見：システム変更されて便利になったが、予約一覧がおかしい。すべて「予約待ち」という言葉になっているが、「購入待ち」など実態に合った言葉に変えて欲しい。メールに書名載せて欲しい。プライバシーの問題で載せてないとのことだが、メールは本人しかいかないのだから載せてくれないか。

図書館：検討する。

意見：最近までメールが届かなかった。メールの本文に休館日がずらずら載っ

ていても意味がない。

意見：時々古い本を借りると鉛筆の書き込みがある。ところが新しい本でも書き込みがある。チェックしてほしい

図書館：こちらでもパラパラめくってチェックしているのだから見逃していることもあるので、教えていただければありがたい。

意見：以前借用本のカバーが汚いと言ったらすぐ変えてくれた。ありがたい。

意見：レシートの文字が小さくなってしまった。行間も狭くなりメモなど書いていたのに書きにくい。改善してくれないか。

意見：予約できる冊数増やせないか。以前のシステムだともう少し融通が利いたような。予約後すぐキャンセルができないので困る。

意見：順番待ちの多い本とは別に予約ができると思う。難しいと思うが。

質問：ひとつの小説を何冊くらい買っているのか。

図書館：各館2冊くらい。合計10冊くらいまでに抑えている。

質問：恋ヶ窪が月に何冊買うのかというのは決めているのか。

図書館：特に決めているわけではなく、全体の様子を見ながら買っている。時間がかかることが多くて申し訳ない。以前は見計らいをして買っていたので早かった。いまは選定、発注、装備、納品と時間がかかっている。

意見：利用者端末、もう少し細かく調べられるようにならないか。検索できないCDがあった。

図書館：CDのマークがまだ落ち切ってなかった。教えていただければ調べる。

意見：カウンターでバーコードの読み込みの高さが高すぎておかしい。バーコードリーダーとパソコンの設定で直せるはず。

図書館：調整できるか調べてみる。

意見：日頃ポケミスを利用している。11月にぶんぶんウォークでビブリオバトルを子どもたちがしているのを見た。ブックカバーと本の神経衰弱をしていたりしていて面白かった。コラボしたりしてはどうか。

図書館：児童担当から来年の講座にビブリオバトルやってはどうかという話もある。

意見：本は人をつなぐ。つながりの場を作ってほしい。

意見：古本（読み継がれている昔の本）コーナーを作してほしい。

意見：図書館にかかわりたい、という潜在的な人はやっぱり多いのかと思う。何かあればお手伝いしたい。

図書館：ボランティア募集の時はよろしくおねがいしたい。

意見：最近本にまとまる前、雑誌に掲載中の作品を追いかけるという楽しみ

もできた。

図書館：そろそろ時間だがなにかあればいつでもカウンターで受け付ける。

本日はありがとうございました。

平成 26 年度 国分寺市図書館利用者懇談会（もとまち図書館）

日 時 平成 27 年 2 月 19 日(木)午後 2 時～3 時 30 分
場 所 もとまち公民館 会議室
参加者 市民 4 名

1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

国分寺市立図書館の概要として統計を用意した。震災以降の 23 年度
辺りから利用の件数が落ちている。今年度も 100 万冊を超えたが、徐々
に減っている状況。

多摩地区全体の館長同士で話し合ったところでも、落ち込んでいる
印象を受けた。メディアの発達など情報収集の変化などが関係か。

図書館に戻ってきた印象としては、学校司書が複数の学校の掛け持
ち、週 2 日ほどで勤務していた時代と比べて学校図書館は充実し明る
くなった印象。図書費もついて本も潤沢になってきた。

反面公共図書館の児童書利用が下がってしまった側面も。公共図書
館としては、蔵書が多い分、古い本も多い。今後の課題としたい。

他に最近の学校図書館との関係としては、調べ学習の支援強化を行
った。毎週水曜日に交換便が動き物流が良くなった。

図書館はこの平成 26 年度にシステムを変更した。メーカーが初めて
変更になった。恋ヶ窪での懇談会ではまだ使いにくいとの声もあった。

システム内で使われる言葉が変更になり使い勝手に若干の影響があ
る。システムの構築は 98%完成しているが残り 2%が完成していない。
使いにくいところは職員に言っていただければ反映していく。

平成 27 年度から光図書館の業務委託が開始する。職員 2 人、嘱託 1

人、業者が4～6人ローテーションで勤務する。

光図書館は障害者サービスに特化した図書館の為、残る職員で障害者サービスを中心にした企画立案をしていく。また、サービス利用者の数が少数にとどまっていることもあり、事業のPRもしていきたい。

高齢者や図書館に来館できない潜在的な利用者に対しても工夫をしていければと思っている。

他にはデジタル資料として、国会図書館からダウンロードしたデータの提供していきたい。

直営では出来なかったことを行っていく。ルーチンワークをなくし、深く広くサービスを展開する。図書館は転換期を迎えている。新規の利用者にも間口を広げたい。

業務委託に関しては27年度に行い、皆さんの意見を募り検証をしたい。今後、光図書館に続いてもとまち、並木、恋ヶ窪も行っていく。図書館41年目にして大きく変わることになる。

変化としては他に、都立多摩図書館が立川市から移転してくる。場所は第四小学校近く。地上3階建て。都立多摩はマガジンバンク。日本一の雑誌保有数を誇る。市民向けに貸出はしないので、図書館の図書館として運営される。業界紙などもあり、新聞は170紙、雑誌は1万7000タイトル、オンラインデータベースが31種類、児童172,000冊、児童雑誌900タイトル。国分寺市としても都立図書館と連携して、何か企画などができるかも知れない。開館の予定はおそらく平成29年頃ではないか。周密書架から周密書架への移動は非常に手間と時間がかかる。この移転は全国初めてだと思われる。

現在検討している中では駅前分館が再開発で建つビルの5階に入る予定。市民課コーナー、図書館コーナー、東経大などの近隣の大学によるカレッジスペースが出る予定。カレッジスペースに関しては、東経大だけなのか他の図書館も参画するのかは未定。ちなみに図書館のスペースは160㎡。フロアにはカフェや野外庭園も入る。

図書館とカフェが有機的に繋がったデザインでイメージしている。

2. 意見・質問

質問：図書館のスペースが 160 m²では狭くないか？ 事務室もあるのか。

図書館：事務室もある。現在駅前分館は行政資料が中心となっている。また予約本の受け取り館として機能している。開館時間が分からないが、現在よりも長く開く為、更に利用が増えると考えている。

質問：移転した現在の駅前分館も受け取り館の機能を果たしているのか。場所が非常にわかりにくい。

図書館：受け取り館としての利用は多い。場所は確かに分かりにくくて申し訳ない。

図書館：お配りした緑のリストは、並木図書館の高校生の利用者 3 人が選書、挿絵、紹介文を担当した。図書館と市民の協働の先駆的存在である。国分寺の図書館はボランティア制度が存在しなかったが、来年度から企画していきたい。図書館の裾野を広げ、関わる方を増やしていく。図書館の相互利用について、今年度小平との利用が始まった。現在立川と調整している。立川と相互利用することで、西側の市民の方の利便性を上げたい。以上が昨今の国分寺の図書館を取り巻く状況である。

意見：ホームページで貸出中の本を予約する時、個人利用者の 2 週間、団体の 3 ヶ月などの状況も一律に「貸出中」となってしまう。違いが分かるように表示ができないか。自分は団体に属している為、貸出の期間の差については理解出来るが、状況を知らない人は期待してしまいガッカリしてしまう。

図書館：システム事業者へ挙げさせてもらう。

意見：協議会でも出たが、人気の本は 2 週間プラス取り置き期間 10 日間の期間を短縮すべき。

図書館：取り置きが 10 日間なのは、どこかで土日を入れる為なので短縮するのは難しい。

意見：光図書館の業務委託だが、カウンター業務はともかくとして、障害者サービスなど館としての仕事を行っていけるのか。サービス強化をしていく余裕があるのか。余程その分野に特化した職員でなければ立ち行かなくなるのではないか。

図書館：今まで、五月雨式に仕事をしてきてしまった経緯がある。やってみないと障害者サービスの量は分からない。来年度は 1 年間検証とし、職員体制なども含めて検討していく。何か不満や改善点などがあったら利用

者から声を上げてほしい。

質問：今までも人員が足りなかったのに、運営は可能なのか。

図書館：30年働いている人間と、去年来た新しい人間が同じ仕事をしている現状。仕事の切り分けをして無駄をなくしたい。

意見：委託業者の人たちもそれなりに専門の知識があるとは思う。傍から見れば職員も委託も変わらなく見えるだろう。しかしこれで諸手を挙げて委託が賛成になった場合、事務室内で働いている「図書館としての仕事」を分かっている職員がいなくなってしまうのではないか。

図書館：現代は委託や指定管理など様々な形態が混在している過渡期。多摩地区内の館長で話し合っても、空洞化していつている現状が見えている。指定管理になってしまうと空洞化してしまう。一部委託とすることで、「図書館のことを考えている職員」を残す余地を作りたい。

意見：昨年、一昨年と他自治体では正職員の新規採用があった。このような他市の状況を市長に伝えて欲しい。また情報を一手に知ることの出来るホームページはないのか。

図書館：一括で情報が手に入るところは知らない。探してみたい。

質問：委託の業者に市の職員が直接ものを言えないと聞いたが、本当か？委託だろうが職員だろうが、「図書館の職員」であることに変わりはない。区別をして図書館の経営は立ち行くのか。

図書館：上手く仕分けしていくのは難しい。偽装委託の問題もある。

委託の業者が職員に指示を仰いではならないことになっている。委託として業務が独立していなければならない。だが、業者の責任者と職員で月例会議、朝会議などをし、改善の調整は行っていく。

意見：迂遠に思える。職員のストレスが心配。指示がダメならアドバイスという形にはできないのか。

質問：会社もそうだが、指示系統が二つあると瓦解してしまう。その対策はしているのか。

図書館：光図書館長が総合マネジメントとして、指示系統ははっきりさせる。

質問：将来的には職員は置かないのか？

図書館：職員2人、嘱託1人は置く。各館に職員を置き特色を持たせていく。

質問：ゆくゆくは5館とも委託してしまうのか。

図書館：本多図書館のみ委託はしない。残りの館は委託していく予定。駅前分館については、その図書館のあるフロア全体が委託となってしまうかもしれない。その為、図書館の職員、嘱託、アルバイト、誰が置かれ

るのかはわからない。

質問：委託の狙いは、費用面だけか。

図書館：狙いの一つとして費用面がある。

質問：今が10ならどの程度浮くのか。

図書館：かかる費用的には同じだが、開館時間の延長と祝日開館としてサービスの増加がある為、実質5~600万円は減少と考えられる。他に一年目の職員と、ベテランの職員など経験の差がある職員の使い分け、職の切り分けを行っていきける。図書館の利用の変化もある。現在図書館は学習室もないような状況であるが、現在のニーズにあった訪れる人と図書館が有機的な結びつきのあるものに変えていきたい。

質問：費用面はともかくとして、今まで努力していなかっただけで、委託しなくてもできるのでは？委託したその先、将来的な運営が不安。潜在利用者の掘り起しは出来るのか。

質問：貼付していたICタグはどうなったのか。

図書館：来年度はもとまちの予定だったが、見送りになった。ICタグは自動貸し出しの為と紛失防止、蔵書点検の効率化などオートメーション化の為に行っている。28年度を目途に進めていきたい。

意見：挫折しているのは勿体ない。是非継続してほしい。

もとまちの話ではないが、利用者が期日前に返してこないという状況があるようだが、どういう対応をしているのか。難しいとは思いますが、待っている人間にとっては非常に気になる。

図書館：延滞している利用者には、利用制限・予約制限のペナルティを課すことで対応をしようと現在考えている。

意見：たまたま借りたことを忘れていたのなら仕方がない面もあるが、確信犯的にやっている利用者があると聞く。そういう人々に対してはルール化をして厳然と対応し、他の利用者に対しても延滞すればこういったペナルティやルールがあることを示してほしい。

話は変わるが、統計を見ると、もとまちの利用者が少ない。寂しいことだ。利用者を増やしたい。もとまちの公民館も利用者が少ない。並木図書館などは多く、他館との差があるが地域性もあるのだろうか。

図書館：並木は地域的に農地が宅地化されていることもあり、家族連れの利用者が急激に増えている。もとまちは場所が奥まっていることもあり、また府中も近接している関係もあるかも知れない。もとまちは数字的には低いですが、居心地の良い図書館ではあると思う。

質問：駅前分館が新しくできたら、もとまちはなくならないか？

図書館：そういう話は出ていない。ただ、建物の老朽化については考えなければならぬ。

意見：ベテランの職員の話だが、今までは子どもが本を迷っていたら、職員がその子の為に本を勧めるというようなことがあった。委託になればマニュアルの対応になってしまうのではないか。図書館として本質的な対応を、委託の職員に求められるか。委託の人が対応してくれる人間であれば良いが、そうでなかったらどうするのか。また、職員数が減ってしまった関係で、新しく本庁から来た職員が図書館に対して前向きな姿勢を持たなかったらどうするのか。

図書館：資格がない職員でも前向きに図書館の仕事に取り組んでくれる人に来てもらえるようにする。

意見：やる気のない人間も、やる気のある人間も給与が一緒なのが問題。民間では許されないこと。

図書館：人事考課というものもある。

図書館：先ほどの返事になるが、委託する業者も現場の職員の資格保有率を6割としている。今回選ばれた業者は大丈夫だと聞いている。試行として業者は2年契約。業者が対応に問題があったら教えてほしい。

質問：契約期間中の職員は同じ人なのか。

図書館：図書館は心のサービスという面もある。なるべく同じ職員に働いてもらう。

意見：他の市の（今回は小平市）図書館を利用できるようにしてもらえて感謝している。調べられる書架、自分で行ける図書館が増えることはとても嬉しい。古い絵本を探していることが多いため、小平の書庫から本を借りたり、府中で綺麗な本を借りて羨ましくも思ったりもした。

司書
他の市で借りた楽しい絵本があり、国分寺でも探すと光にあった。司書の方が「光にいた時に面白いと思って自分が購入した」という話をしてくれました。司書の方がアンテナを立てて選書をしてくれているお蔭だと感じました。大変お世話になっている。

図書館：よく利用していただいているようで、図書館としても大変有り難いこと。現在、国分寺の図書館はハード面にも問題があり、書庫がない為、

蔵書数の多い他市の図書館には太刀打ちできない部分がある。増築は出来ませんが、書庫なども将来的にできれば良い。愛着あってこそその図書館。環境をこちらが作っていくので、ぜひこれからも利用して行ってほしい。

意見：ぶんぶんウォークに参加したが、沢山の参加者がいた。こういう人にも是非利用者懇談会に参加してほしいと思った。

図書館：課同士で声を掛け合って、協力できるような相談をしていきたい。

図書館には来ていない本が好きな人の来館が増えるように、連携して企画なども起こしていきたい。

平成 26 年度第 2 回国分寺市図書館利用者懇談会（並木図書館）

日 時 平成 27 年 2 月 20 日（金） 午前 10 時 30 分～12 時
場 所 並木図書館・並木公民館 小会議室
参加者 市民 2 人（男性 1 人 女性 1 人）

1. 図書館の事業概要についての報告。

10 月からの図書館システムが入れ替え。
光図書館が 4 月から一部委託になる。
国分寺駅北口の開発で、新ビルの 5 階に駅前分館が入ってくる予定。
都立多摩図書館移転について。
相互利用では立川市と連携する予定。

2. ご意見・ご要望

意見：昨年 4 月から頻りに図書館を利用するようになった。書評等で気になった本を都立図書館の横断検索などを活用して調べている。小平市など他市の図書館も利用しており、図書館が親しい存在になってきた。先日今回の利用者懇談会の案内があったので、図書館の話が聞けるとして来てみた。外部委託のことも初めて聞いた。市報ではいつ掲載されるのか。

図書館：3 月 1 日の市報でお知らせする予定。

意見：光図書館の一部委託については、直営でしてほしいと思っていたが、色々な論議がなされての決定だと思う。施設管理も委託する P F I とは違っ

て、一部委託ならば職員の方が深いところで関わっていられるので、今まで忙しくて手が回らなかったサービスなどができるようになるとよい。仕事を定年で終えて、初めて地域に目が向いて、図書館を利用するようになる人もいる。そういう方たちの行き場として図書館があつてよい。また、そういう人たちをボランティアで活かしてはどうか。宅配のボランティアなどもできるのではないか。

図書館：先日の利用者懇談会でも宅配ボランティアの話がありました。合わせて検討していきたい。

意見：おはなし室をもっと活用してはどうか。絵本を通して自分を語るなど、対象を子供に限らず、地域の方に話す場であってもよい。

図書館：ビブリオバトルというものが最近話題になっている。勝ち負けを競うものではなく、おすすめの本を紹介してどの本を読みたくなるかというもの。本を媒体にして人と人とがつながっていくような活動ができればよいと考えている。

意見：図書館は本が好きで来る人もいるが、地域の中にあるということで、本以外のものにも喜びを見つけられると良い。他市の人口比率を見てみると、国分寺あたりは中高年の比率が高い。ゆとりのある高齢者の方も多いのではないか。そういう人たちが孤立するのではなく、つながって、健康に楽しく、本を通して人生を豊かにできたらよい。子供たちには本を通して育ちがあると良い。図書館の使命は本を貸し出すサービス業でもあるけれど、プラスして何かができたらよい。

図書館：高齢者サービスは、元気な方、図書館に来るのが難しい方も含めて考えていきたい。利用者とやり取りしていると、大活字本のような大きな字がよいという方もいれば、本が重たいから文庫がよいという方もいる。各年代で必要な要望を職員に教えてもらえると、サービスにも反映できるので、色々な声を聞かせてほしい。昨年利用者懇談会では、おはなし室をもっとオープンにしてはどうかというお話をいただいて実施した。親子で読めるように絵本を置いたりぬいぐるみを置いたりしており、利用者にもよく利用されている。

意見：入りやすくなって嬉しかった。部屋も明るくなった。親子で利用しているのも見かける。

意見：宅配ボランティアはやってみたい。1冊の本を通して話すのが嬉しかったことがある。宅配を通して話をできるのではないか。

図書館：一人暮らしの老人の見守りなど、宅配も多面的に活用できる。そうい

うお声をいただくと力になる。

意見：サマースクールなど、学校図書館との連携も増えてきたように感じる。

図書館：今年度から週に1回、学校図書館との交換便が運用されている。調べ学習のテーマの本の回送など、学校図書館のバックアップも重要な役割になっている。また、小学生の図書館見学や中学生の職場体験も実施されていて、職場体験の中学生には読み聞かせやってもらった。

意見：良い経験だと思う。何かを伝えるのは財産になる。

意見：国立国会図書館など市外の図書資料の取り寄せもできるのか。

図書館：取り寄せはできる。市内に所蔵のない本は、リクエストをしていただければ購入や、他市・他県から取り寄せることができる。国会図書館は館外貸出ができないので、なるべく他県など館外貸出のできる図書館から取り寄せをしている。

意見：貸出期間が国分寺市は2週間だが国立市は3週間ある。厚い本は2週間だと急いで読まなければならないが、3週間ならば余裕がある。

図書館：全国的に、貸出期間は2週間のところが多い。次に予約がなければ返却期限日から2週間の延長ができ、最大で4週間借りられる。延長手続きは電話やカウンターでもできるし、パスワードの登録をすれば利用者端末やインターネットからもできるのでご活用を。

意見：色々なことがだんだん便利になっているが、人を介してのつながり、サービスは守ってほしい。

平成 26 年度 国分寺市図書館利用者懇談会（光図書館）

日 時 平成 27 年 2 月 21 日（土） 午前 10 時 30 分～午後 12 時

場 所 光公民館 大会議室

参加者 市民 3 人（男性 3 人）

1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

配布資料「平成 25 年度国分寺市立図書館の状況」に基づき説明。

10 月からのシステム変更

来年度の光図書館一部業務委託

都立多摩図書館の移転

国分寺駅北口の再開発

来年度立川市との相互利用を予定
高校生が選ぶ本のリストの作成

2. ご意見・質問

意見：本の貸出数など条件は国分寺市民と同じなのか。

図書館：他市の方が国分寺市の図書館を利用する場合は、市民の貸出数半分の本が6冊、CDが2タイトルとなっている。また、国分寺市民が他市の図書館を利用する場合も各市の貸出数の半分となる。

意見：図書カードは共通なのか。

図書館：各市での登録が必要。府中、小平市の図書館は月曜日も開館しているので、そういう所で国分寺市民には利用してもらっている。

意見：よくリサイクル図書を利用させてもらうが、どのくらいでリサイクル図書になるのか決まりはあるのか。もっと出せたら有効利用できるのではないか。

図書館：雑誌によって違うものもあるが、雑誌は保存年数が2年、週刊誌は半年となっている。年度末にまとめて処理をしているので、この時期にリサイクル図書コーナーに並ぶ。旅行書は新しく購入したものの2つ前の年度のものが除籍対象となる。他の本はそういった除籍の決まりはなく、選定結果で除籍している。

意見：貸出件数は減っているとのことだが、長らく図書館を利用させてもらっていてここ何年かは入館者数が増えている印象がある。国などもアウトソーシングが増えてきているけれども、今の職員さんをお願いしている読書相談などは来年度の業者の人にもお願いできるのか。

図書館：仕様書では司書の有資格者は6割以上にしてほしいと依頼している。全国200館以上やっている実績のある業者なので読書相談、レファレンス等も対応できる。声をかけてくだされば職員も対応する。地域密着で来てよかったと思ってもらえることが一番大切だと考えている。

意見：テレビ等で客個人にあった本を勧めることができる本屋や、充実している大学図書館、カフェと一緒にいる図書館を見る。

図書館：昔の図書館は調べものをしたり、本を借りて自宅で読んでもらっていた。しかし今は学習施設、居場所としての図書館を求められているが国分寺は少ない。国分寺駅北口の再開発で駅ビル内にできる図書館はカフェと連携して作ることを考えている。来年度からはボランティアを入れ

て宅配をお願いする。そういう人を含めての図書館にしていきたい。

意見：参考資料室で他者の新聞をめくる音が気になる。

新聞3誌持ち込んでいる人もいる。決まりは守ってもらうよう指導が必要。

図書館：同じような意見は頂いている。本多図書館は新聞閲覧コーナーを別に設けて、参考資料室では読まれないようにしている。光図書館もそうしたいが、スペースがなく机を置くことが出来ない。課題にしているが実行に至っていない。

図書館：ワークショップをひらいてみると、多少ザワザワしている図書館のほうが良いという人もいる。

意見：その意見は分かる。静かな所での音は気になってしまう。

意見：駐輪場の確保はできないのか。

図書館：駐車場内に駐輪場のスペースがある。建物の横にも置けるがすぐいっぱいになってしまうので、なるべくそちらに置いてもらうようにしているが、少し歩くのでやはり建物の横に置いていかれてしまうことが多い。

意見：今まで図書館を利用していたが、駐輪場があることを知らなかった。

図書館：暖房、冷房についてのご意見を頂くが場所によって行き渡らない所がある。何か感じられていることがあればご意見を伺いたい。

意見：それは仕方がないこと。概ねみんなのマナーはそんなに悪くはない。

図書館：本日いただいた図書館へのご意見については、今後検討していきたい。

本日はありがとうございました。